

『7連休のGW』

大きな変化がない限り、新型コロナに係る報道がトップニュースから二番手・三番手となっていたのはいつ頃からだろう？本日の紙面では、『知床遊覧船の遭難』、次いで『ロシアによるウクライナ侵攻』関連、そして『コロナ』に係るニュースへと続いています。

コロナについては、

①感染者数が高止まりしていること ②新型コロナウイルスの感染拡大以降、宣言や措置が出されていない大型連休は初めてであること ③ 連休期間中の新幹線・在来線の予約数が大幅に伸びたこと ④ 連休後の急激な感染拡大が懸念されること ⑤ 厚生労働省がワクチン接種4回目を5月末頃からの開始を決めたこと

と、記事のポイントだけを列挙すると、到底、全体に自然なつながりはなく、理解できない流れになっています。唯一のつながりと言えば、②から③への流れでしょうか。2文だけを読めば、制限が出ていないからお出掛けが増える傾向にある、というのは自然ですよね。しかし、決して前文①・後文④とは自然な流れとしてはつながりません。

このGWを巡る状況こそが、コロナの怖さ、その対応の難しさ、そして苦渋の決断をせざるを得ないことなど、様々な立場がもつ想いの一端を汲み取ることができ、今のベターなのかと思わざるを得ません。

しかし、『知床遊覧船の遭難』、『ロシアによるウクライナ侵攻』、そして『コロナ関連』のニュース全てに共通して最優先すべきことは何でしょうか・・・？

それは何をおいても命です。命を置いて優先すべきものはありません。それは誰もがわかっているはずなのに、連日の侵攻による多数の死傷者の出現、天候不良で関係者から忠告されたにも関わらず出航した遊覧船の遭難等、ありえない事態が起こっています。こうした事実が連日流れると、段々と事実に対する受け止めも弱く、興味も薄れていってしまいます。ただ目に映るだけになってしまっただけではあまりにも寂しいです。だからこそ、世の中の動き、そして関わる人々の姿や思いについて知り、自分なりの考えをもってほしいと思います。

コロナについては、上記した記事の①は岐阜県内にも当てはまる事実です。岐阜県前週との比較50人増、6日連続で前週の同じ曜日を上回っているという、感染者数の高止まり状態です。東濃地区、瑞浪市内も感染者数は増減を繰り返しています。また、現在多い事例は家庭内感染です。本来であれば、心身ともに休めて安心できる場所であるはずなのに、危機感を抱き、家の中まで気を遣わなくてはいけない、という現状があります。しかし、最優先すべき命を守るためであればやむを得ません。

さて、明日から7連休です。お出掛けの計画がある場合には、様々な『リスク』を避けること、減らすことに心掛けてください。日常の取組の継続です。上記した記事の④の事態にならないことだけを祈念しています。充実した7連休に！！